

子どもたちの安全・安心な居場所 「あだち放課後子ども教室」で遊ぼう！学ぼう！

あだち放課後子ども教室とは

小学生を対象に、放課後の校庭、体育館や図書室などで子どもたちの自由な遊びや、学習の場を提供する居場所づくりの事業です。運営は、学校ごとに地域の方々に組織する実行委員会が行っており、スタッフが子どもたちの活動を見守っています。教育委員会が主催し、生涯学習振興公社が運営を支援しています。

参加するには

事前に「登録申込書」の提出が必要です。参加は無料です。

※1年生の開始時期、実施日、学年分け、終了時刻などは学校ごとに異なります。詳しくは各校の放課後子ども教室にお問い合わせください。



見守りスタッフが日々の活動を支えています

見守りスタッフは、子どもたちの健やかな成長を願う地域の協力者です。

子どもの対応スキルを高めるため、子どもとの接し方に関する研修や万が一の事故に備えて応急手当講習などを受講しています。

児童保育室との違いは何ですか？

放課後子ども教室は、自主的に活動する場を提供し、子どもたちを「見守る」事業です。

児童保育室は、遊びや生活の場を提供し、保護者に代わって子どもたちを「預かる」保育事業です。



校庭で遊ぶ子どもたち

放課後子ども教室の5つのねらい

- 異学年の子や地域の大人との交流によって、**社会性や協調性**を養います。
- 自由遊びや自主学習などを通じて、**自分で考え行動する力**を伸ばします。
- 校庭や体育館を使った集団での遊びで、**運動能力や体力**を高めます。
- 友だちと宿題や読書のできる場をつくり、**学習の意欲**を高めます。
- 思い切り体を動かすことで、食事や早寝など**生活リズム**を整えます。



A5判冊子

利用案内
はこちら



「見守りスタッフ募集」の動画を配信中です。ぜひご覧ください。

興味のある方は、お問い合わせください。

動画はこちら▶



問い合わせ

放課後子ども教室担当

☎5813-3732

平日 午前9時～午後5時